

# 高知県感染症発生動向調査（月報）

2017年9月

高知県感染症情報センター  
 高知県衛生研究所  
 TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/>  
 E-mail : 130120@ken.pref.kochi.lg.jp

## 全国情報

第36週(9月4日～)から第39週(～10月1日)までの4週間に報告の多かった疾患は表1のとおりである。全国における9月の上位6疾患の合計は49.46で8月の4週間換算値62.96に比べて減少した。減少の原因は、夏の感染症である手足口病とヘルパンギーナの先月に続いた減少である。一方で、注目されるのは、冬に流行することが多いRSウイルスの早い流行である。1位は手足口病で13.08(8月1位4週間換算値26.90)と半減した。2位が感染性胃腸炎で12.29(同2位12.79)と横ばいだった。3位がRSウイルス感染症で11.32(同3位8.26)と増加した。4位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で5.72(同5位4.67)と増加、5位は流行性角結膜炎で3.88(同6位3.73)と横ばいだった。6位がヘルパンギーナで3.17(同4位6.62)と半減した。

表1 各週定点当たり報告数（全国）

No	疾病名	週	36週	37週	38週	39週	計
1	手 足 口 病		4.17	3.88	2.67	2.36	13.08
2	感 染 性 胃 腸 炎		3.32	3.29	2.60	3.08	12.29
3	RS ウ イ ル ス 感 染 症		3.21	3.34	2.49	2.28	11.32
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.45	1.54	1.20	1.53	5.72
5	流 行 性 角 結 膜 炎		0.98	1.00	0.85	1.05	3.88
6	へ ル パ ン ギ ー ナ		1.06	0.97	0.56	0.58	3.17

## 県内情報

全国との対比（定点当たり報告数）

高知県の9月の上位6疾患の合計は43.90で8月の4週間換算値30.13と比べて増加したが、全国より少なかった(表2)。増加の原因はRSウイルス感染症の爆発的流行である。RSウイルスは季節外れの流行であるのに過去10年間で月間報告数が最多であった。都道府県別では定点当たりで、徳島県、熊本県、宮崎県、島根県、福井県、山形県に次いで7番目に多い報告であった。全国的に特筆すべき大流行となっている。

1位はRSウイルス感染症で22.00(8月2位4週間換算で7.21)と3倍に増加し全国よりも多かった。2位は感染性胃腸炎で12.53(同1位10.37)と増加し全国と同等だった。3位はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で3.44(同4位3.98)と少し減少し全国よりも少なかった。4位は手足口病で2.97(同3位5.54)と減少し全国よりも少なかった。5位は咽頭結膜熱で1.60(同6位1.30)、6位は突発性発疹で1.36(同7位0.98)といずれも少し増加で、全国よりも少し少なかった。

表2 各週定点当たり報告数（高知県）

No	疾病名	週	36週	37週	38週	39週	計
1	RS ウ イ ル ス 感 染 症		4.07	6.20	6.73	5.00	22.00
2	感 染 性 胃 腸 炎		3.63	3.63	2.50	2.77	12.53
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.70	0.90	0.97	0.87	3.44
4	手 足 口 病		0.67	1.20	0.67	0.43	2.97
5	咽 頭 結 膜 熱		0.13	0.50	0.57	0.40	1.60
6	突 発 性 発 疹		0.30	0.20	0.43	0.43	1.36

## 2. 全体の傾向

麻しん、風しんの報告無し。

## 3. 主な疾患の発生状況

### 1) インフルエンザ

報告数 1名 (8月 17名)。8月にはA型 H3 NTが4件検出され、まとまった数が報告されたが、流行は拡大せず、夏季休暇の人の移動に伴う一時的な散发発症にとどまった。ウイルスは検出されていない。

### 2) 咽頭結膜熱

報告数 48名 (8月 49名)。この時期としては平年並みの数である。幡多、安芸、高知市、須崎、中央東から表記の順に多く報告された。咽頭結膜熱からウイルスは検出されていないが、感染性胃腸炎の1歳児からアデノウイルス2型が1件検出された。

### 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

報告数 103名 (8月 149名)。2014年10月以降多い報告数が続き、2015年12月以降は2016年3月に至るまで、同時期として過去10年間では最大の流行となった。2016年5月以降にいったん沈静化したが、9月以降には再びゆるやかに増加し100台で推移し、11月-1月は平年並みの数となっていた。2月に再び増加し、3月以降も多い数字で推移している。県下全域から報告があり、高知市、幡多、中央西からの報告が多い。細菌は検出されていない。

### 4) 感染性胃腸炎

報告数 376名 (8月 389名)。この時期としてはほぼ例年通りの報告数で、県下全域から報告があり、とくに高知市、須崎、安芸、中央東からの報告が多い。病原体として、先月につづきNorovirus GIIが4件検出され、ほかにCoxsackievirus B4が2件、Adenovirus 2型が1件検出された。

### 5) 水痘

報告数 25名 (8月 34名)。須崎、中央西、高知市、幡多、中央東から表記の順に多く報告された。2014年10月からの水痘ワクチン定期化の効果で、少ない数字で推移していたが、昨年12月は155名と大幅に増加、以後は減少、増減はあるが7月以降は減少している。定期予防接種の恩恵を受けていない5歳以上が10名 (40%) を占めていた。ウイルスは検出されていない。

### 6) 手足口病

報告数 89名 (8月 208名)。初夏に流行が始まる感染症で、今季は5月からとやや早い流行開始となり、過去10年で最大の流行となった。7月は同時期として過去10年間で2010年に次ぐ2番目に多い報告数で、高知県全域で警報値5を大きく超えていた。8月、9月と減少したが、幡多、中央西、高知市、中央東では、まだ注意報値を超えている。ウイルスはCoxsackie A6が5月に8件、6月に16件、7月に10件、8月、9月に各2件検出されており、今季の流行株である。9月は、加えてCoxsackie A16が1件検出された。

### 7) 伝染性紅斑

報告数 1名 (8月 6名)。2015年以降、全国的に例年に比べてやや多い数で推移していたが、6月以降は同時期として平年並の報告数である。中央東から1件報告された。Prvovirus B19は検出されていない。

### 8) 突発性発疹

報告数 41名 (8月 37名)。想定内の変動で推移している。

### 9) 百日咳

報告数 0名 (8月 1名)。9月は報告が1例もなかった。

### 10) ヘルパンギーナ

報告数 36名 (8月 65名)。同時期としては平年並みの報告数だった。例年6-7月から流行がみられるが、今季は5月から流行が開始し、6月に著増、7月にさらに増加したが、8月から減少に転じた。安芸以外で報告があり、とくに幡多、高知市の順に多かった。9月にウイルスは検出されていない。

11) 流行性耳下腺炎

報告数 8名 (8月 9名)。高知市と中央東から表記の順に多く報告された。ウイルスは検出されていない。

12) RSウイルス感染症

報告数 660名 (8月 270名)。8月よりもさらに増加し、爆発的な流行となった。やや季節外れの流行であるにも関わらず、過去10年間で月間報告数が最多であった。都道府県別では定点当たりで、徳島県、熊本県、宮崎県、島根県、福井県、山形県に次いで7番目に多い報告である。全国的に特筆すべき大流行となっている。筆者の医療施設では過去7年間で最大の月間小児科入院数を記録し、その半数以上がRSウイルス感染症だった。

県下全域から報告されたが、特に幡多、高知市、須崎、中央西の順に多く報告された。ウイルスは、高熱、咳嗽を伴う気道感染症の1歳児と下痢と咳嗽を伴う不明発疹症の2歳児、高熱、咳嗽を伴う気道感染症の2歳児から、それぞれRSウイルスAが検出されている。7月にはRSウイルスBが検出されていたが、このたびの大流行の主たるRSウイルス株はAの可能性が高い。夏季に流行が起きても冬季に再度流行する年が多いので、今後も注目していく必要がある。

13) 流行性角結膜炎

報告数 0名 (8月 1名)。ここ3年間は一桁で推移している。

14) 細菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 0名 (8月 0名)。1年に10名前後の数で推移している。乳児を対象としたHibと肺炎球菌ワクチンの定期接種がはじまって以降はこれらを原因菌とする小児例の報告はない。

15) 無菌性髄膜炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 0名 (8月 0名)。8月に続いて報告がなかった。今季は無菌性髄膜炎の患児から、Echovirus 9型が4件検出された。

16) マイコプラズマ肺炎 (基幹定点の報告疾患)

報告数 3名 (8月 2名)。高知市から報告があった。細菌は検出されていない。

基幹定点の月報疾患

17) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

報告数 35名 (8月 31名)。例年並みの数で推移している。

18) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

報告数 0名 (8月 0名)。2017年は3月に1例報告されている。2014年は計4例、2015年、2016年は各1例報告があった。

高知県感染症発生動向調査部会  
前田 明彦

高知県における月別全数報告疾患（平成29年9月）

類型	病名	報告月									総計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
2	結核	5	7	10	8	5	11	6	14	17	83
3	細菌性赤痢									2	2
4	オウム病						1				1
	つつが虫病	1									1
	レジオネラ症		1					2			3
	レプトスピラ症								1		1
	日本紅斑熱				1	1		3		1	6
	重症熱性血小板減少症候群						2	1	1		4
5	アメーバ赤痢			2	1	1	1				5
	ウイルス性肝炎			1		1					2
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1		1	1	3	5	1	2	2	16
	クロイツフェルト・ヤコブ病								1		1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1				1				2
	後天性免疫不全症候群		1		1	2	1	1			6
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1		1		1				1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	2	3	3	3	1	1	2		17
	播種性クリプトコックス症			1	1						2
	破傷風								1		1
	梅毒	2	1	1	1	4	2		2		13
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症								1		1
	総計		12	13	20	17	21	25	16	24	23

# 高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

2017年

9月

定点名	疾病名	保健所							計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				
内科・小児科	インフルエンザ			1				1	17		
小児科	咽頭結膜熱	5	4	20		3	16	48	49	153	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	10	67	6	3	15	103	149	117	
	感染性胃腸炎	31	82	208	12	35	8	376	389	378	
	水痘		2	14	4	3	2	25	34	60	
	手足口病		17	33	13	2	24	89	208	27	
	伝染性紅斑		1					1	6	36	
	突発性発疹	1	9	23	3	2	3	41	37	62	
	百日咳								1	20	
	ヘルパンギーナ		2	15	1	1	17	36	65	50	
	流行性耳下腺炎		2	6				8	9	85	
	RSウイルス感染症	4	51	295	36	33	241	660	270	87	
眼科	急性出血性結膜炎										
	流行性角結膜炎								1	5	
STD	性器クラミジア感染症			3				3	1	2	
	性器ヘルペスウイルス感染症										
	尖圭コンジローマ								1		
	淋菌感染症									1	
基幹	細菌性髄膜炎									4	
	無菌性髄膜炎									3	
	マイコプラズマ肺炎			3				3	2	45	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			2				2	1	2	
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスである ものに限る)									2	
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	8	2	19			6	35	31	15	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症										
	薬剤耐性緑膿菌感染症										
計		51	182	709	75	82	332	1,431	1,271	1,154	
前月		56	253	617	78	58	209				
前年同月		52	201	596	97	72	136				
小児科定点数		2	7	11	3	2	5				

# 高知県感染症情報 月報(65定点医療機関)

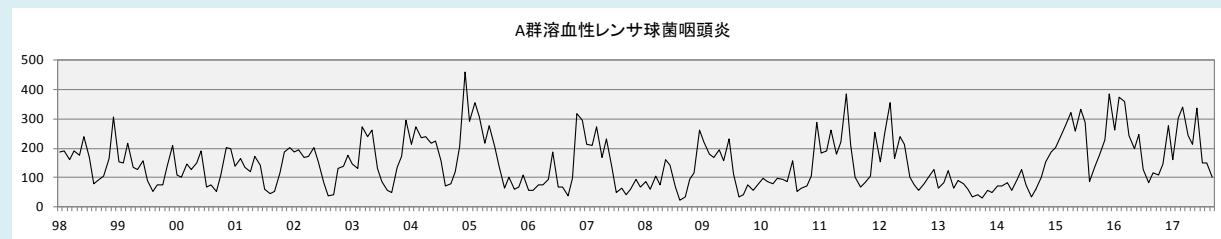
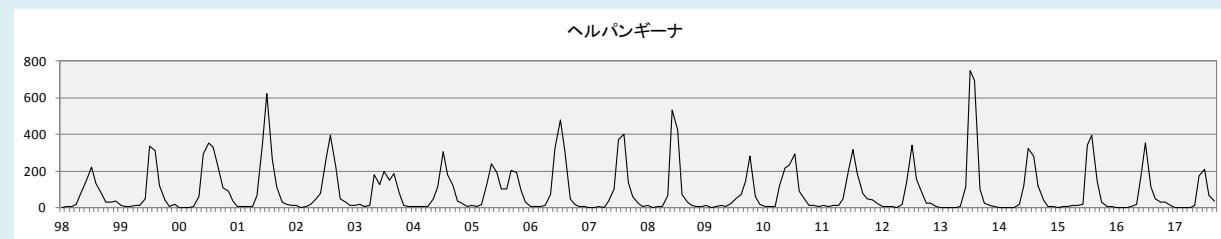
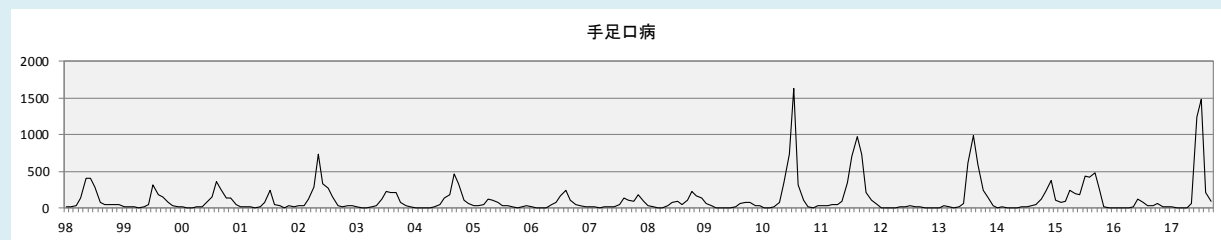
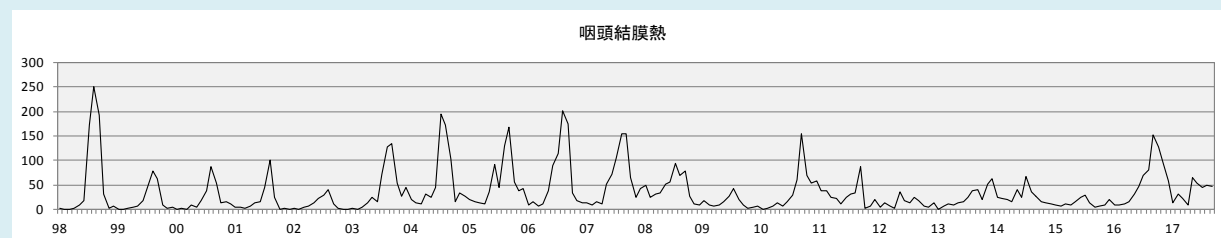
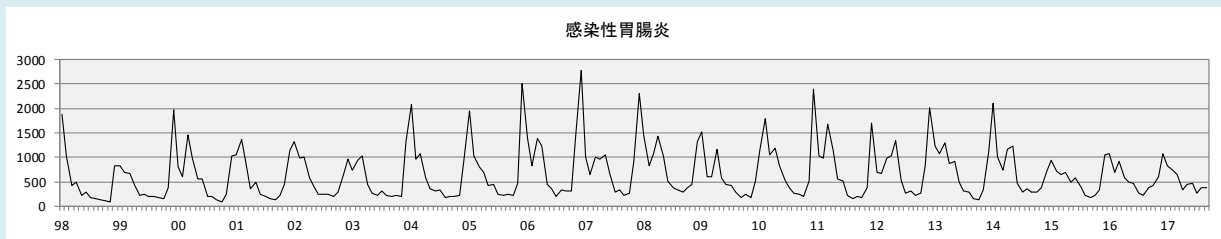
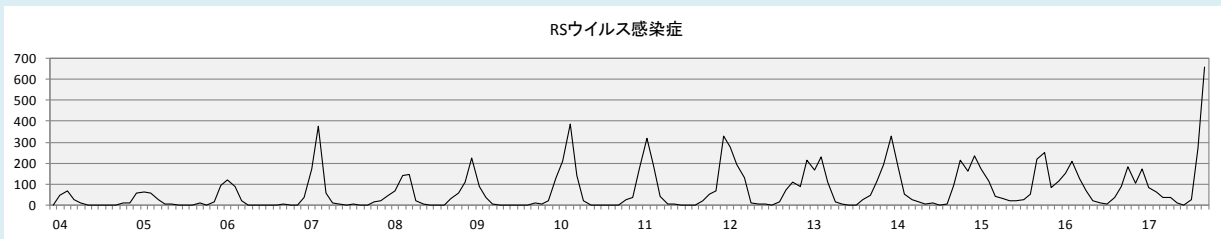
2017年

9月

定点当たりの人数

定点名	疾病名	保健所						計	前月	前年同月
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多			
内科・小児科	インフルエンザ			0.06				0.02	0.35	
小児科	咽頭結膜熱	2.50	0.57	1.82		1.50	3.20	1.60	1.63	5.10
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	1.42	6.09	2.01	1.50	3.00	3.44	4.97	3.90
	感染性胃腸炎	15.50	11.71	18.91	4.00	17.50	1.60	12.53	12.96	12.60
	水痘		0.28	1.26	1.33	1.50	0.40	0.84	1.13	2.01
	手足口病		2.43	3.01	4.33	1.00	4.80	2.97	6.93	0.90
	伝染性紅斑		0.14					0.03	0.20	1.20
	突発性発疹	0.50	1.29	2.09	1.00	1.00	0.60	1.36	1.23	2.07
	百日咳								0.03	0.67
	ヘルパンギーナ		0.28	1.36	0.33	0.50	3.40	1.19	2.16	1.67
	流行性耳下腺炎		0.29	0.54				0.26	0.30	2.82
	RSウイルス感染症	2.00	7.29	26.83	12.01	16.50	48.20	22.00	9.01	2.90
眼科	急性出血性結膜炎									
	流行性角結膜炎								0.33	1.66
STD	性器クラミジア感染症			1.50				0.50	0.17	0.33
	性器ヘルペスウイルス感染症									
	尖圭コンジローマ								0.17	
	淋菌感染症									0.17
基幹	細菌性髄膜炎									0.51
	無菌性髄膜炎									0.38
	マイコプラズマ肺炎			0.60				0.38	0.26	5.64
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)			0.40				0.26	0.13	0.26
	感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る)									0.25
	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	8.00	2.00	3.80			6.00	4.38	3.88	1.88
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									
	薬剤耐性緑膿菌感染症									
小児科定点計		21.50	25.70	61.97	25.01	41.00	65.20	46.24	40.90	35.84
前月		26.50	35.47	53.56	25.49	29.00	40.60			
前年同月		24.50	28.15	49.89	32.30	36.00	22.20			

注目される疾患別月別推移



## 高知県感染症情報（月報）

平成29年9月

## 検査情報

## ウイルス、細菌の分離状況

9月はウイルス44件、細菌4件の搬入があり、そのうちウイルス22件、細菌1件の病原体を検出し、また、平成29年8月に搬入された検体でウイルス7件、7月に搬入された検体で1件を検出した。検出ウイルスの内訳は、Adenovirus 2 1件、Adenovirus 3 1件、Coxsackievirus A6 2件、Coxsackievirus A16 1件、Coxsackievirus B4 2件、Cytomegalovirus 1件、Echovirus 3 1件、Echovirus 9 1件、Enterovirus NT 3件、Herpes simplex virus 1 1件、Human herpes virus 6 4件、Human herpes virus 7 2件、Norovirus GII NT 4件、Parainfluenza virus 2 1件、Parainfluenza virus 3 1件、Parechovirus 1 1件、Respiratory syncytial virus A 3件、また、細菌の内訳は *Bordetella pertussis* 1件であった。

## ウイルス、細菌の分離状況

No	年齢	性別	臨床診断名	臨床症状	検査材料名	採取日	ウイルス、細菌の検出
1	1	女	熱性痙攣	40℃、咳嗽、上気道炎、	ふん便	7/11	Human herpes virus 6
2	2	女	ヘルペス性歯肉口内炎？ヘルパンキ	39℃、口内炎、	ぬぐい液	8/19	Herpes simplex virus 1
3	11ヶ月	女	不明発疹症	39℃、発疹、	ぬぐい液	8/21	Echovirus 9
4	2	男	手足口病	口内炎、	ぬぐい液	8/24	Cytomegalovirus
5	1	女	胃腸炎	40℃、下痢、嘔吐、嘔気、咳嗽、上気道炎、発疹、	ふん便	8/27	Echovirus 3 Parechovirus 1
6	2	女	不明発疹症	37℃、発疹、	ぬぐい液	8/28	Human herpes virus 6
7	1	男	感染性胃腸炎	38℃、下痢、咳嗽、上気道炎、	ふん便	8/29	Adenovirus 3
8	11ヶ月	男	手足口病	39℃、発疹、口内炎、	ぬぐい液	8/30	Coxsackievirus A6
9	1	男	感染性胃腸炎	嘔吐、嘔気、	ふん便	8/31	Coxsackievirus B4
10	6ヶ月	男	不明熱	38℃、下痢、	ぬぐい液	9/1	Enterovirus NT
11	4	女	感染性胃腸炎	37℃、下痢、嘔吐、嘔気、腹痛、	ふん便	9/2	Norovirus GII NT
12	1	女	不明熱	41℃、	ぬぐい液	9/2	Enterovirus NT
13	1	男	不明発疹症	37℃、咳嗽、発疹、	ぬぐい液	9/2	Human herpes virus 6
14	7ヶ月	男	不明発疹症	39℃、下痢、発疹、	ぬぐい液	9/2	Human herpes virus 6
15	1	男	不明発疹症	37℃、咳嗽、発疹、	ぬぐい液	9/2	Parainfluenza virus 3
16	1	女	感染性胃腸炎、扁桃炎	39℃、下痢、腹痛、	ふん便 ぬぐい液	8/31 9/4	Adenovirus 2
17	1	女	感染性胃腸炎	下痢、嘔吐、嘔気、	ふん便	9/4	Norovirus GII NT
18	1	男	呼吸器感染症	40℃、咳嗽、肺炎、	ぬぐい液	9/4	Respiratory syncytial virus A
19	4	女	不明発疹症	38℃、発疹、	ぬぐい液	9/4	Human herpes virus 7
20	3ヶ月	男	—	40℃、咳嗽、	後鼻腔ぬぐい液	9/5	Parainfluenza virus 2
21	2	男	感染性胃腸炎	38℃、下痢、嘔吐、嘔気、	ふん便	9/6	Norovirus GII NT
22	1	男	感染性胃腸炎	39℃、下痢、嘔吐、嘔気、	ふん便	9/6	Norovirus GII NT
23	4	男	呼吸器感染症	上気道炎、	鼻咽腔ぬぐい液	9/7	Enterovirus NT
24	2	女	感染性胃腸炎	41℃、	ふん便	9/11	Coxsackievirus B4
25	3ヶ月	男	手足口病	38℃、発疹、	ぬぐい液	9/11	Coxsackievirus A6
26	6	女	不明発疹症	36℃、発疹、	ぬぐい液	9/11	Human herpes virus 7
27	2	男	不明発疹症	下痢、咳嗽、発疹、	ぬぐい液	9/12	Respiratory syncytial virus A
28	12	男	百日咳 疑い	咳嗽、	ぬぐい液	9/13	<i>Bordetella pertussis</i>
29	2	男	手足口病	38℃、口内炎、	ぬぐい液	9/16	Coxsackievirus A16
30	2	女	気管支炎	39℃、咳嗽、気管支炎、	ぬぐい液	9/22	Respiratory syncytial virus A





